

(一社)日本アスファルト乳剤協会 タイヤ付着抑制型アスファルト乳剤 (PKM-T)規格準拠

タックファインE



タイヤの状況

PKR-T
散布後に
ダンプトラックが
通過した散布面状況



タイヤの状況

タックファインE
散布後に
ダンプトラックが
通過した散布面状況

概要 従来のタックコート用乳剤は、アスファルト乳剤が分解した後に形成するアスファルト被膜の“べたつき”があるため、気温や路面温度が高くなる夏期では、アスファルト被膜が施工車両のタイヤなどに付着し、舗装面から剥がされてしまうことがありました。その結果、タックコートの信頼性が著しく低下するとともに、タイヤに付着したアスファルト被膜が周辺道路を汚してしまうなどの課題が指摘されてきました。

タックファインEは、タックコート本来の層間接着性能を保持しつつ、乳剤の分解後に形成するアスファルト被膜の“べたつき”を大幅に抑えることで、上記の課題を克服した画期的なタックコート用乳剤です。

- 特徴**
- ① ゴム入りアスファルト乳剤(PKR-T)と同等以上の層間接着性能を発揮する特殊改質アスファルト乳剤です。
 - ② PK-4やPKR-Tなど同様の箇所に適用できます。
 - ③ ダンプトラックや施工機械のタイヤなどに付着しにくく、舗装面から剥がされにくいいため、周辺道路を汚すことなく、均質な接着強度が期待できます。

□ タックファインE使用上の留意点

- タックファインEの様々な性能は、乳剤が完全に分解した後には発揮されますので、適切な養生を十分に確保してください。
- タックファインEの散布面上へ施工車両が乗り入れる前に、指触などで乳剤が分解していることを確認してください。
- タックファインEの分解時間は散布する路面の状況や施工時期などによって異なりますが、概ね従来のタックコート用乳剤と同程度です。

□ タックファインEの諸性能

層間接着性能評価

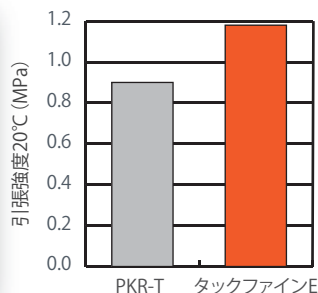
引張試験〔(一社)日本アスファルト乳剤協会JEAAT-5に準拠〕とせん断試験〔「道路橋床版防水便覧」(公社)日本道路協会に準拠(試験温度20℃)〕から、層間接着性能を評価しました。
試験結果から、タックファインEの接着性能はPKR-Tと同等以上であることがわかります。

■ 試験供試体 ■

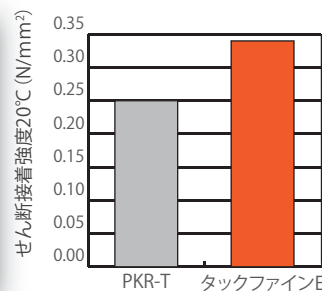


- 試験条件 -
- 供試体寸法：直径10cmの円筒供試体
 - 散布量：0.4 l/m²
 - 引張り試験：戴荷速度(60mm/分)、試験温度(20℃)
 - せん断試験：戴荷速度(1mm/分)、試験温度(20℃)

引張試験



せん断試験



□ タックファインEの規格

JEAAS タイヤ付着抑制型アスファルト乳剤 PKM-Tに準拠

試験項目	タックファインE	
	標準的な性状	JEAAS
エングレー度/25℃	4	1~15
ふるい残留分/1.18mm (質量%)	0.0	0.3以下
付着度	2/3以上	2/3以上
粒子の電荷	陽(+)	陽(+)
蒸発残留分 (質量%)	51	50以上
蒸発残留分	針入度/25℃ (1/10mm)	18
	軟化点 (℃)	62.0
貯蔵安定度(24hr) (質量%)	0	1以下
タイヤ付着率/60℃ (質量%)	1	10以下